



我孫子市

Abiko city

令和4年12月1日
報道提供資料

我孫子市×川村学園女子大学 連携事業 学生らが学内の市情報発信コーナーをXmas仕様にリニューアル

令和4年6月に川村学園女子大学の我孫子キャンパス内に開設した「我孫子市情報発信コーナー」を、同大学で地域活性マネジメント論を学ぶ学生の提案で学生自身がXmas仕様にリニューアルしました。

今回のリニューアルは、市の情報発信の課題を探る授業で「情報発信コーナーは、学生へのアピールが足りず十分認知されていない」という指摘を受けたことをきっかけに行いました。

リニューアル作業は、市の情報発信コーナーの活性化を担当する4人の学生が、生活文化学科の高橋裕子先生の協力を得て、Xmasリースや小物、イルミネーションなどで、華やかに飾り付けました。作業した学生は「このリニューアルをきっかけに、さらに多くの学生に市の情報発信コーナーを知ってもらいたい」と話しました。

市では、情報発信コーナーの利活用に向けて、今回のリニューアルの反応も見ながら、活性化を担当する学生と協同で随時リニューアルを行う予定です。



▲ 6月に開設した「市情報発信コーナー」



▲ Xmas仕様

【問い合わせ】

我孫子市企画総務部秘書広報課
あびこの魅力発信室
担当：深田、奈良
☎ 04-7185-2493

【我孫子キャンパス 市情報発信コーナー（川村学園女子大学14号館1階ホール）】



▲市情報発信コーナーがXmas仕様に



▲飾り付けをする学生



▲市情報発信コーナー活性化担当の学生



▲手賀沼のうなきちさんサンタも登場

【参考：大学連携 地域活性マネジメント論】

魅力発信に学生の視点を活かす目的で行っている大学との連携は、市企画政策課・あびこの魅力発信室の職員や市内事業者が講義を担当し、昨年度に続き2回目となります。

昨年度の講義では、同大学2キャンパス（我孫子・目白）の在大学生を対象に「あびこの魅力アンケート」を実施し、「我孫子市が発信している情報を見たり聞いたりしたことがあるか」の問いに「いづれもない」と回答した学生が6割を超え、最多の「イベント情報」でも2割程に留まるなど、自宅と大学の往復で、市の情報に接する機会が少ないことが明らかとなりました。

6月からは、我孫子キャンパスで学ぶ学生に「地元をもっと知って欲しい」と、県内自治体で初めて大学キャンパス内に「市情報発信コーナー」を開設し、市のさまざまな情報に学生が日頃から触れられる機会の提供を始めています。同コーナーでは「広報あびこ」や観光ガイド「ABIROAD」、市内のバス会社が作成したグルメ冊子などを設置し、市の情報を積極的にPRしています。それらを学生に自由に持ち帰ってもらい、市内巡りやイベント参加、飲食・買い物など地域の賑わいの創出に繋がることを目的としています。

10月には、市の情報を受け取るだけでなく、学生が実際に市内を歩き、魅力を見つけ、感じてもらうことで、若者世代に響く市の魅力を見つけてもらうため、フィールドワークを実施しました。